

科 目 名		学 年	単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態	学 修 単 位
国語Ⅱ（現代文・古文）： JapaneseⅡ		2SB	2	90分×30回	履修	講義・通年	－
教 員 名		赤 迫 照 子：AKASAKO Shoko					
授 業 概 要	検定教科書に掲載の現代文・古文を読む。音読・読解・鑑賞し、言語能力を養う。 実践的なコミュニケーション能力を習得する。 参考資料を活用して、言語文化への関心を深める。 1年間を通じて漢字テストや読書活動に取り組む。						
到 達 目 標				評 価 方 法			
(1)読む力：文法事項を理解し、作品を読解する。漢字の読みを学習する。 読書を楽しむ。 (2)書く力：作成した授業ノートで予習・復習に取り組む。自分の考えを論理的な文章で表現する。漢字の書き取り学習をする。読書感想文を書く。 (3)話す力：適切に音読をする。根拠を明示しながら自分の意見を述べる。課題に応じて質疑応答や議論を行う。 (4)聞く力：授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理する。				①中間・期末試験（60%）、②小テスト・レポート等の提出物（20%）、③口頭試問（15%）、漢字テスト（5%）とする			
学 習 ・ 教 育 目 標		(G)		JABEE基準1（2）			
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
	第1	ガイダンス 評論（1）①	シラバスを熟読し、授業概要・到達目標・ 授業計画等を理解する。 港千尋「知識の扉」を通読する。	第16	日記「更級日記」①	「門出」を読解し、鑑賞する。 古語・文法・古典常識を学習する。	
	第2	評論（1）②	港千尋「知識の扉」を読解し、評論文の 読み方を理解する。	第17	日記「更級日記」②		
	第3	評論（1）③		第18	随筆（2）「方丈記」①	「ゆく河の流れ」「養和の飢饉」を読解し、 鑑賞する。 古語・文法・古典常識を学習する。 様々な視点から古典文学に親しむ。	
	第4	説話「十訓抄」	「安養の尼の小袖」を読解し、鑑賞する。 古語・文法・古典常識を学習する。	第19	随筆（2）「方丈記」②		
	第5	随筆（1）「徒然草」①	「花は盛りに」「同じ心ならむ人」とを読解し、 鑑賞する。 古語・文法・古典常識を学習する。	第20	国語表現（1）	文の構造を学習し、悪文とはどのような ものかを知る。 文の構造に気をつけて文章を書く。	
	第6	随筆（1）「徒然草」②		第21	評論（2）①	中村雄二郎「好奇心」を読解し、評論文 の読み方を理解する。	
	第7	古文文法	古文文法の復習をする。	第22	評論（2）②		
	第8	中間のまとめ	中間のまとめとして試験を実施する。	第23	中間のまとめ	中間のまとめとして試験を実施する。	
	第9	物語「伊勢物語」①	「梓弓」を読解し、鑑賞する。 古語・文法・古典常識を学習する。	第24	随筆（3）「枕草子」①	「春はあけぼの」「雪のいと高う降りたる を」を読解し、鑑賞する。 古語・文法・古典常識を学習する。	
	第10	物語「伊勢物語」②		第25	随筆（3）「枕草子」②		
	画	第11	小説（1）①	中島敦「山月記」を読解し、小説の読み 方を学習する。	第26	小説（2）①	夏目漱石「こころ」を読解し、小説の読み 方を学習する。
		第12	小説（1）②		第27	小説（2）②	
		第13	小説（1）③		第28	小説（2）③	
		第14	和歌①		「万葉集」「古今集」「新古今集」等の和 歌を読解し、鑑賞する。 古語・文法・古典常識を学習する。	第29	国語表現（2）
第15		和歌②	第30	まとめ		1年間の学習事項のまとめを行う。授業評価 のアンケートを実施する。	
自学自習の内容		次授業のために、授業ノートを準備する。レポートを作成する。					
関連科目		国語Ⅰ					
教 科 書		『現代文 新訂版』・『新編 古典』筑摩書房					
参 考 書		『カラー版新国語便覧』第学習社					
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。					
副担当教員							
備 考		国語Ⅱ（3単位）の最終評価は、国語Ⅱ（現代文・古文）と国語2（漢文）を2：1として評価する。					

科 目 名			学 年	単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態	学 修 単 位
国語Ⅱ(漢文) : JapaneseⅡ			2SB	1	50分×30回	履修	講義・通年	—
教 員 名		薄井信治 : USUI Shinji						
授 業 概 要								
	検定教科書を用いて、漢文を読む。 白文を書写し、素読し、暗誦を行うことで、五感を研ぎ澄ませる。							
到 達 目 標					評 価 方 法			
(1)漢語を理解することで、現代日本語の語彙を増やす。 (2)返り点のみの訓読漢文を読むことで、日本語の基本的構造を理解する。					①試験(中間・期末)(60%)、②口頭試問(15%)、③小テスト・レポート(15%)、④復習カードの提出(10%)を総合的に評価する。			
学習・教育目標			(G)		JABEE基準1(2)			
授 業 計 画	回	項 目	内 容		回	項 目	内 容	
	第1	ガイダンス	授業の進め方、ノートの取り方、復習カードの書き方を理解する。		第16	史伝①	「鴻門之会」を読む。	
	第2	逸話①	「推敲」「知音」を読んで、訓読漢文の読み方を確認する。		第17	史伝②	〃	
	第3	逸話②	〃		第18	史伝③	〃	
	第4	逸話③	〃		第19	史伝④	〃	
	第5	漢詩①	漢詩を読み、鑑賞文を書く。		第20	史伝⑤	〃	
	第6	漢詩②	〃		第21	史伝⑥	〃	
	第7	漢詩③	〃		第22	史伝⑦	〃	
	第8	漢詩④	〃		第23	思想①	孟子を読む。	
	第9	漢詩⑤	〃		第24	思想②	〃	
	第10	漢詩⑥	韓愈「雑説」を読む。		第25	思想③	〃	
	第11	文章①	〃		第26	思想④	〃	
	第12	文章②	〃		第27	思想⑤	荀子を読む。	
	第13	文章③	〃		第28	思想⑥	〃	
	第14	文章④	〃		第29	思想⑦	〃	
	第15	文章⑤	〃		第30	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。 授業評価アンケートを行う。	
自学自習の内容		授業を復習し、カードに記入して提出する。						
関連科目		国語Ⅰ						
教 科 書		『新編 古典』筑摩書房						
参 考 書		『カラー版新国語便覧』第一学習社						
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。						
副担当教員								
備 考		国語Ⅱ(3単位)の最終評価は、国語Ⅱ(現代文・古文)と国語2(漢文)を2:1として評価する。						